

子どもを真ん中にした地域ぐるみの学校支援で、学校が元気に！地域が元気に！

とんぐい村の こみ・すく通信

令和3年1月7日発行 第29号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その17>

消防の方から救急救命法 しっかり質問してしっかり学ぶ

更別小学校6年生が12月15日に、更別消防署の斎藤さん、佐々木さんに来校いただき、救急救命法を学びました。

心臓に異変を起こし、突然意識を失い死亡する心臓突然死。日本では7分に1人がこの心臓突然死で亡くなっているそうです。また、運動中でも安静時でも起こるのが心臓突然死です。救える命は救いたい。



倒れている人がいたら、周りの安全を確認

→反応がなければ大声で協力者を(119番通報とAEDを依頼)

→呼吸を確認し、呼吸がなければただちに胸骨圧迫(心マッサージ:1分間に100~120回)

⇔AEDを装着し、AEDから出る指示に従って行動

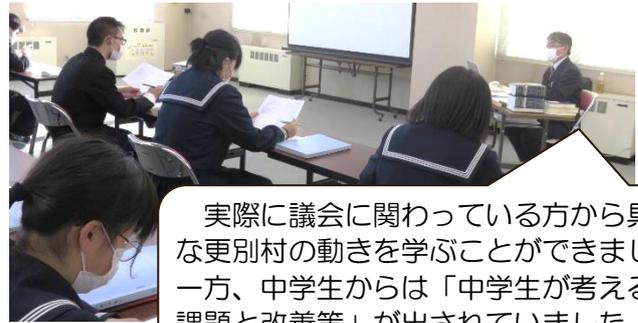
6年生は、消防の方から教えてもらいながら救急救命用のキットを使って胸骨圧迫(心マッサージ)を熱心に練習。AEDの使い方についても学んでいました。救急救命の流れについて大変意欲的に取り組み、よく考えて消防の方に大事な質問をたくさんしていました。



キットを使って心マッサージの練習。みんな集中！

更別村の地方自治と議会を学ぶ

更別中央中学校3年生が12月21日に役場に行き、議会事務局の高橋さんから地方自治や議会について丁寧に教えていただき、その後12月10日に行われた議会の映像をもとに、具体的な説明を加えていただきました。



実際に議会に関わっている方から具体的な更別村の動きを学ぶことができました。一方、中学生からは「中学生が考える村の課題と改善策」が出されていました。

また、村長から現在進められているスーパーシティのビデオとお話を、最後には議事堂を見せていただきました。

将来に向けて身近な職業人から学ぶ 「仕事に近道はない」「何事もプラス思考で」 「挫折は何回も」「乗り越えて」



更別中央中1年生が、12月22日に更別駐在所所長の星さんに来校いただき講話をお伺いしました。

星所長はこの3月に定年で退官されることから、今までの職業人生を語っていただき、子どもたちが将来について考える機会にしたいと設定されたものです。

星所長は、更別も含めて網走や羽幌など広い道内で7つの警察署に勤務され、それぞれの地域の治安を、使命感をもって守ってこられました。また、いろいろな苦労話も教えてくださいました。

生徒からは、「大変なことを乗り越えて今があるのだと思った」「警察は困った人を助けるすごく素敵な仕事だと改めて思った」「自分のためにも将来に向けての勉強が必要であり大切なのだと思った」「私たちの安全を守ってくれて本当にありがとうございます」などたくさんの感想が出ていました。